

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表（※運営推進会議は書面での開催 / 事業所自己評価確認はR5.8.26）

法人名	株式会社トリプルユー	代表者	松平 一成	法人・事業所の 特徴	ご利用者様が可能な限り住み慣れた地域での生活を継続できるよう、地域住民との交流や地域活動への参加を図り、ご利用者様が生きがい感に充たされた暮らしを培うことが出来るよう、生活全般にわたっての支援を行うことを目的としている。また、「ご利用者様、ご家族、職員が笑顔に」を実践できるよう、地域に密着した施設づくりを行い、認知症への理解を深め、その人らしい生活を送れるよう支援している。
事業所名	クローバーケア福島・蓬萊	管理者	照井 学		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	マニュアル整備等、利用者様に適切なサービスを提供できるよう、利用者ファーストで事業所の体制を整えていく。	別紙(2-2)に前回の改善計画に対する取組み結果を分野ごとに記載済。	今後も地域との連携を強化できるよう、協力していきたい。各スタッフの方それぞれの役割を全うできるよう、頑張ってもらいたい。	別紙(2-2)に今回の改善計画を記載済
B. 事業所のしつらえ・環境	地域住民の方が気軽に足を運べるよう事業所周辺の環境美化に努め、当事業所から街を綺麗に出来るよう取り組んでいく。	当方の事業所周辺の環境整備は、当方スタッフだけでなく、利用登録者も率先して園芸作業を通じて緑が多くなるよう尽力して頂いている。当方に足を運んだ方からは「緑が多く、環境が素晴らしい」とお言葉を多数頂戴している。	周辺が公園、住宅街に囲まれ自然豊かで閉静な環境下でサービス提供を行えていることが大変素晴らしいと思う。	当方の環境整備には尽力出来ているが、「クローバーケアから街を綺麗に」という当方のミッションが出来るよう、環境整備に努めていく。
C. 事業所と地域のかかわり	当事業所の地域交流スペースが有効活用出来ない為、地域住民がいつでも使用できるように、環境整備に努め発信していく。関係機関との情報共有に努めていく。	コロナウイルス感染蔓延の為、憩いの場としての機能は果たせずも、小中学生の体調不良時の初期対応やトイレの貸し出し等、子供達が気軽に足を運べる場所としての機能が出来ている。	クローバーケアの地域交流スペースを有効活用できるように、地域の方にも進めていきたい。また、見学等にも対応して頂いてるが事業所内の雰囲気の良いを感じることができた。	当方敷地内には自動販売機があるが、地域住民の憩いの場となるような環境作りを行っていく。またウォーターペットやトクタードマー等のリクレーション機器使用を通じ、事業所内を多くの方にみてもらえるよう取り組んでいく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域の体操教室やカフェ等、スタッフと利用者で参加出来るよう、関係機関との連携を密に行い、顔が見える関係づくりを進めていく。	地域の茶の間「ふるさと」の利用や地域の集会所で開催している体操居室への参加等、介護保険外サービスを組み合わせ、利用者スタッフが地域住民との交流を図れる機会を少しずつ増やすことが出来た。	地域の茶の間「ふるさと」との連携を図れると、代表者の方が民生委員も兼ねているため、地域の民生委員とのやりとりもスムーズに行くと思う。今後も利用者のサポートをお願いすると良いと思う。	蓬萊地域のSunSunカフェへの参加、その他周辺地域の活動に積極的に参加し、利用者個々にあった活動参加を促せる取組みに力を入れていきたい。
E. 運営推進会議を活かした取組み	今年度は当事業所の地域交流スペースを活用し、感染対策を講じながら会議開催に向けて尽力していく。	令和4年度内は、コロナウイルス感染蔓延に伴う書面での開催。地域包括支援センターや各地域の民生委員の方とは可能な限り訪問し、当方の運営状況は活動状況を伝えていた。	民生委員や町内会長だけでなく、蓬萊3丁目には「あけぼの会」というサークル組織がある。是非一度顔を出してもらいたい。	地域の有識者への参加を多く募ることが出来るよう、民生委員さんの協力を頂きながら、当方が地域に求められる役割を明確にしていく。また、地域に欠かすことが出来ない事業所となるよう、スタッフと共に協力体制を構築していく。
F. 事業所の防災・災害対策	火災だけでなく、風水害発生時のマニュアル構築を早期に行い、地域住民参加型の訓練を行っていく予定。防災意識を地域ぐるみで検討していく。BCPについても早期に作成を進めていく。	コロナウイルス第5類移行に伴い、R5.10に地域住民との共同で避難訓練を開催予定。令和4年度は利用者参加型の実践を想定した訓練を2回開催済。BCPは引き続き作成段階である。	BCPに作成については作成途中段階の為、今年中の作成と火災時の対応については、共に共有していきたい。また、田沢や清水町の消防団との連携は必要と思う。	BCP作成を早期に完了し、実際の災害時に活用できるものかを検証し、アップデートを重ね、地域住民との連携と情報共有を図っていく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 5年 8月 26日 (15:00～16:00)
------------------	-----	----------------------------

1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	統括責任者/管理者/計画作成担当者/ 看護師/介護スタッフ/調理員/事務員
-------------------	------	------------------------------------------

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	9 人	7 人	人	人	16 人

前回の改善計画
小規模多機能型居宅介護の「通い」「訪問」「宿泊」のサービス提供だけでなく、地域のインフォーマルサービスの活用や地域住民との交流、各地域の町内会長や民生委員との協力体制を築き、利用者様を中心となり、住み慣れた環境下での生活を継続できるよう、事業所内の研修機会や小規模多機能型居宅介護の他事業所との交流機会を増やし、小規模多機能型居宅介護の特性を活かしながらサービス提供に努めていきたい。
前回の改善計画に対する取組み結果
蓬萊3丁目集会所で開催されている「体操教室」へ、登録利用者やスタッフが参加し、交流を図る機会を少しずつ増やしている。また毎週水曜日の週1回移動販売「とくし丸」の利用を行い、当方の登録利用者だけでなく、普段の買い物に困難である周辺住民にも利用を促している。コロナ禍もあり、当方での研修会開催は実施出来なかったが、運営推進会議の対面開催や、地域の茶の間「ふるさと」様による配食サービスを含めた独居高齢者への支援、各町内の民生委員様との連携を密に行い、利用者様が住み慣れた地域での生活継続できるよう支援体制を構築し、「地域」を意識した取り組みを行っている。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	10	6			16
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	6	10			16
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	11	5			16
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	10	6			16

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること
登録利用者が2023/3下旬時点で16名前後。朝礼や終礼、月2回のスタッフミーティング、役職者会議等を通じ顔が見える形での情報共有と公休や業務都合で参加できないスタッフにも配慮した、書面での申し送り等、介護職員が登録利用者寄り添い関わられるよう、サポートしていく体制を整えている。小規模多機能型居宅介護の「通い」「訪問」「宿泊」を当方スタッフが関わることによるメリットを活かし、登録利用者を中心に住み慣れた環境での生活を可能な限り継続できるように今後も行っていきます	

できていない点	200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること
登録利用者が2023/3下旬時点で16名前後。昨年と比べ、利用登録者の増加によるスタッフの増員及び1日の通い利用者数増加に伴う、本人に必要な声掛けや気遣い、決め細やか支援が、不十分にならないよう、スタッフ間で意識して取り組んでいる。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
2023/7に開業2年になるため、当方は次の新しいステージに向けて出来ること、出来ないこと、出来ていないことを明確にし、利用登録者が安心して当方のサービスを受けられるよう、当方の課題整理を行い利用者を中心に考えられるよう取り組んでいきたい。また、登録利用者の増加により、1日の通いサービス人数(15人)上限までの利用が想定される。一人一人の個を大切にしながら、スタッフ目線ではなく、利用登録者に必要なサービス提供を同じ目線で考えられるよう、日々のアセスメントを大切に、利用登録者の住み慣れた地域での生活が継続できるよう支援していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 5年 8月 26日 (15:00～16:00)
------------------	-----	----------------------------

2.「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	統括責任者/管理者/計画作成担当者/ 看護師/介護スタッフ/調理員/事務員
--------------------------	------	------------------------------------------

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4 人	12 人	人	人	16 人

前回の改善計画	計画作成担当者が利用者毎のライフサポートプランを作成し、一人の利用者に対し全スタッフでサービス提供内容やモニタリングを行い対応していたが、介護スタッフの役割分担がやや不明瞭であったことが課題であった。2022/6月中旬より、介護スタッフの担当制導入を行い、一番身近に関わっている介護スタッフと計画作成担当者が連携を図り、利用者様と現場スタッフの声をよりプランに反映できるようにしていく。一ヶ月に一回のモニタリングについては、計画作成担当者と担当介護スタッフ両名で居宅を訪問し、連携を図り支援していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	介護スタッフの担当制導入を行ったが、交代勤務による情報伝達の遅れが生じ、利用者様の自己実現尊重に支障をきたす場面があったことから、介護主任・副主任を中心に現場の意見を当日の終礼までに集約し、翌日または次の利用までに課題解決を行う体制に変更。登録利用者の声及び現場の声が明確になり、連携を図れている一つの要因と思われる。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	7	7	2		16
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	7	7	2		16
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	7	7	2		16
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	7	7	2		16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>昨年に引き続きライフサポートプランを活用。本人が住み慣れた地域での生活を継続できるよう支援するだけでなく、今までの生活してきた背景をスタッフで共有できるよう当事業所独自のアセスメントシートや自宅環境図を用いている。様々な角度視野から利用者様のことを考えサービス提供が出来るよう、情報共有に努めている。また、朝礼や終礼等のミーティング、利用登録判定会議の開催等、スタッフが自身の意見を述べられるような雰囲気づくりを実践している。</p>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>小規模多機能型居宅介護は「通い」「訪問」「宿泊」という3つのサービス提供を行っていることから、事業所内での様子と自宅での様子等様々な視点から関わることが出来るため、情報量が多い。昨年より登録利用者の増加に伴う更なる情報量が多い反面、各利用者の情報が整理出来ていないことは見受けられる。介護主任と令和5年度より介護副主任を2名任命し、交代勤務で負担の多いスタッフが、休み明けでもスムーズな情報共有と伝達が可能となるよう、スタッフ間の役割を明確にしている状況である。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>介護職員内での役割を明確を行い、当方利用登録利用者の生活の質向上を目指しブラッシュアップを図っていく。また、当方で使用しているアセスメントシートの内容見直し等、介護スタッフが情報整理をしやすい環境を整えることで、関わりを持つ利用者との信頼関係構築にも繋がっていくと思われる。スタッフの意見を大事に取り組みでいきたい。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 5年 8月 26日 (15:00~16:00)
------------------	-----	----------------------------

3. 日常生活の支援	メンバー	統括責任者/管理者/計画作成担当者/ 看護師/介護スタッフ/調理員/事務員
------------	------	------------------------------------------

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	13 人	3 人	人	人	16 人

前回の改善計画	計画作成担当者が利用者毎のライフサポートプランを作成し、一人の利用者に対し全スタッフでサービス提供内容やモニタリングを行い対応していたが、介護スタッフの役割分担がやや不明瞭であったことが課題であった。2022/6月中旬より、介護スタッフの担当制導入を行い、一番身近に関わっている介護スタッフと計画作成担当者が連携を図り、利用者様と現場スタッフの声をよりプランに反映できるようにしていく。一ヶ月に一回のモニタリングについては、計画作成担当者と担当介護スタッフ両名で居宅を訪問し、連携を図り支援していく
前回の改善計画に対する取組み結果	介護スタッフの担当制導入を行ったが、交代勤務による情報伝達の遅れが生じ、利用者様の自己実現尊重に支障をきたす場面があったことから、介護主任・副主任を中心に現場の意見を当日の終礼までに集約し、翌日または次の利用までに課題解決を行う体制に変更。登録利用者の声及び現場の声が明確になり、連携を図れている一つの要因と思われる。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	14	2			16
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	13	3			16
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	8	8			16
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	8	8			16
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	8	8			16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
毎月のモニタリングにおいては、当方での「通い」「訪問」「宿泊」で入力された記録以外にも、介護スタッフが事業所独自のモニタリングシートを記入し、主観的ではなく、客観的に利用者様に対し接することができるよう、チームケアを意識した取り組みを行っている。また、以前の暮らし方については、初回利用開始前に、事業所独自のアセスメントシートやライフサポートプラン内容にも計画作成担当者が記載することで、スタッフが情報収集できる体制は昨年から引き続き継続をしている。朝礼や終礼、月2回のスタッフミーティングにおいても、職種間でよりタイムリーな情報共有を図り、本人ご家族とも協力的体制を整えている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
利用登録者の増加により、介護スタッフが情報の整理が不十分によるケアの統一が不十分を感じる場面や、朝礼や終礼でのミーティング等で何度も確認する場面があり、登録利用者の方の生活に支障が出ないように留意している。確認することは大変素晴らしいことではあるが、情報の整理方法については、再検討が必要と思われる。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
介護職員内での役割を明確を行い、当方利用登録利用者の生活の質向上を目指しブラッシュアップを図っていく。また、当方で使用しているアセスメントシートの内容見直し等、介護スタッフが情報整理をしやすい環境を整えることで、関わりを持つ利用者との信頼関係構築にも繋がっていくと思われる。スタッフの意見を大事に取り組みしていきたい。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 5年 8月 26日 (15:00~16:00)
------------------	-----	----------------------------

4. 地域での暮らしの支援	メンバー	統括責任者/管理者/計画作成担当者/ 看護師/介護スタッフ/調理員/事務員
---------------	------	------------------------------------------

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	13 人	3 人	人	人	16 人

前回の改善計画
小規模多機能型居宅介護利用登録者の支援体制については、引き続き地域包括支援センターや地域の協力支援者と連携を図り対応していく。緊急時の体制等は、最大の支援者であるご家族と確認し、生活背景を踏まえながらアセスメントを行っていく。また、さまざまな選択肢が持てるよう、ライフサポートプラン初回作成時から情報共有に努めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
利用登録者本人がお住まいの民生委員の方や、近隣住民のサポート体制を初期段階から構築や継続をすることで、お互いが顔が見える関係づくりを行い、何か相談等があれば早期に連絡を受ける体制が出来ている。まだまだ不十分な点はあるが、利用登録者に必要なサービスを提供できるよう、地域の関係事業所との連携と顔が見える関係づくりを継続していく。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	12	4			16
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	12	4			16
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	12	4			16
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	12	4			16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
毎月のモニタリングにおいては、当方での「通い」「訪問」「宿泊」で入力された記録以外にも、介護スタッフが事業所独自のモニタリングシートを記入し、主観的ではなく、客観的に利用者様に対し接することができるよう、チームケアを意識した取り組みを行っている。また、以前の暮らし方については、初回利用開始前に、事業所独自のアセスメントシートやライフサポートプラン内容にも計画作成担当者が記載することで、スタッフが情報収集できる体制は昨年より引き続き継続をしている。朝礼や終礼、月2回のスタッフミーティングにおいても、職種間でよりタイムリーな情報共有を図り、本人ご家族とも協力体制を整えている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
小規模多機能型居宅介護利用登録者においては、地域の民生委員や近隣住民、介護保険外のサービス導入等、より多くの選択肢の中から、利用登録者に必要なサービスを提供している。しかし、独居高齢者の緊急時の対応については、当方スタッフの訪問待機職員を2名体制で準備していること、自宅鍵のキーBOXの設置導入等、本人やご家族への了解を得た上で行っているが、早期に対応しなければならない際の時間的なタイムラグは発生してしまう現状がある。改善に努めていきたい。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
小規模多機能型居宅介護利用登録者の住み慣れた生活を継続していくには、地域住民の協力なしでは成り立たないことは十分理解している。まだまだ潜在的に埋もれている社会資源を有効活用できるよう、多くの協力者の賛同を得ていくことが、登録利用者の為に繋がっていくと思われる。コロナウィルス第5類移行に伴い、さまざまな人の集まる場に顔を出せるパイプ作りを実践し、更に多くの選択肢を持てるよう、取り組んでいきたい。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 5年 8月 26日 (15:00~16:00)
------------------	-----	----------------------------

5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	統括責任者/管理者/計画作成担当者/ 看護師/介護スタッフ/調理員/事務員
----------------	------	------------------------------------------

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4 人	9 人	3 人	人	16 人

前回の改善計画
可能な限り各地域の会合の場等に参加し、当事業所の存在を多くの方に知ってもらえるよう、事業所が所在する蓬莱地域だけでなく実施し、顔が見える関係づくりを意識した取り組みを行っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
コロナ渦の中で制限はあったが、蓬莱地区の交流会参加や、1~2ヶ月に1回地域の事業所や高齢者支援を目的とする事業所へ直接出向き、顔が見える関係づくりを可能な限り実践してきた。また当方ホームページを通じての活動報告等、事業所としての取り組みを伝えることで、協力賛同して頂ける事業所が増えてきている。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	8	8			16
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	8	8			16
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	8	8			16
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	8	8			16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
小規模多機能型居宅介護利用登録者においては、介護保険外の配食サービスを含めた自費サービス導入や各地域の民生委員や近隣住民が行う見守り支援、行政のサービス機関の調整(ふれあい収集等)、利用者の住み慣れた自宅生活を支えられるよう支援している。サービスの利用については、あくまで自立支援を念頭に置き、ご家族の協力も頂きながら「通い」「訪問」「宿泊」のサービスを調整している。朝礼や終礼等のミーティングの実施により、登録利用者の常時モニタリングとアセスメントが可能となっているため、課題解決に早めに対処出来ている。他、利用者様やご家族様の状況を踏まえ、急な通いサービス追加や宿泊サービス提供にも可能な限り対応している。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
当方でのクラフト教室開催等は、感染状況に配慮して実施してきたが、継続した目的や意図を事業所として次に繋げることが出来ていなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
2023/7より、対面開催での運営推進会議開催が可能となったことを受け、地域の有識者が当方へ集うことが可能になった現状を活かしていきたいと考えている。また、サービス担当者会議の開催頻度を利用者の状況等を考慮しながら可能な限り随時情報共有できる場を設け、さまざまな視野とより多くの意見を収集、共有できるよう改善していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 5年 8月 26日 (15:00~16:00)
------------------	-----	----------------------------

6. 連携・協働	メンバー	統括責任者/管理者/計画作成担当者/ 看護師/介護スタッフ/調理員/事務員
----------	------	------------------------------------------

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	10 人	6 人	人	人	16 人

前回の改善計画	地域包括支援センターや支所の福祉課担当者と情報共有を図り、1ヶ月に1回は意見交換の場に参加できるよう参加計画を練っていく。また、地域の憩いの場となれるよう、事業所敷地内に自動販売機を設置している。椅子やテーブル等を設置し、立ち寄りやすい環境を作っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	コロナウイルス感染蔓延の為、地域の憩いの場としての環境づくりは頓挫していたが、小中学生の緊急時(ケガや体調不良)の相談場所としての役割を全う出来ていた。また、子供達との普段の何気ない会話を通じ、事業所としての認知度が上がっていることを認識することができた。事業所敷地内が憩いの場となれるよう、環境づくりに再チャレンジしていきたい。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	3	10	3		16
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	2	2	12		16
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	1	1	14		16
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	10	6			16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
登録利用者のサービス提供に必要なサービス担当者会議については、本人の意向並びにご家族の意向を確認する場であること、関係事業所との連携を構築していく為にも、必要最低人数の参加にて継続実施していた。必要に応じ当方LINE活用やZOOM、タブレットの活用、メール等可能な限り情報を集められるよう尽力していた。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
コロナウイルス感染蔓延の為、運営推進会議の開催や、地域の関係機関との連携や意見交換等の会議や会合等、イベントについては参加を見合わせていた。また、地域の憩いの場としての機能はまだ不十分な状況であるため、再度敷地内の環境づくりから着目して実践していきたい。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
登録利用者のサービス担当者会議やモニタリング開催等は、感染状況にも配慮しながら感染対策を実践しながら開催を継続していく。当方は小規模多機能型居宅介護サービスであることから、訪問看護や訪問リハビリ、福祉用具貸与業者の支援は必要不可欠である。また地域の民生委員や関係する介護保険外のサービス事業者の協力なしでは、利用登録者の住み慣れた地域での生活は成立しないことを念頭に置き、令和5年度も引き続き連携体制を継続していく。また、コロナウイルス第5類移行に伴い、会議や会合等、顔が見える場には可能な限り立ち会い、協力を求めるだけでなく、当方から出向き協力できるという側面を伝え、地域の一事業所としての役割を全うしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 5年 8月 26日 (15:00~16:00)
------------------	-----	----------------------------

7. 運営	メンバー	統括責任者/管理者/計画作成担当者/ 看護師/介護スタッフ/調理員/事務員
-------	------	------------------------------------------

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	11 人	3 人	人	16 人

前回の改善計画	コロナウィルス感染状況を確認しながら、顔が見える関係づくりの一環として、当事業所での運営推進会議開催時期を再度検討し、感染対策を万全に行い開催に尽力していく。また、ZOOM等でのオンラインでの開催が可能であれば、活発な意見交換が出来るよう開催を検討し実施していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	令和4年度においては、コロナウィルス感染蔓延を理由に、運営推進会議は書面での開催のみで経過していたが、可能な限り地域の会合には参加することや、町内会長や民生委員の方の自宅に出向き、当方の運営状況や活動状況はタイムリーに伝え、書面を交えて報告していた。利用者ご家族との関わりについては、月1回のモニタリング実施時に意見交換等を行っていた。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	4	8	4		16
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	10	4		16
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	10	4		16
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	8	8			16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>利用登録者に対しては、毎月のモニタリングにて当方のサービス内容の確認以外にも意見等を確認することを行い、意見を反映できる体制を継続していた。また当事業所では「ご意見報告書」を活用し、利用者様やご家族様からの意見を全スタッフに周知出来るよう活用している。ご意見報告書については、利用者様やご家族様からの声を大切にし、よりよい質の高いサービスが提供できるよう、朝礼や終礼等のミーティングで対策を検討し、スタッフ全員で課題解決に取り組んでいる。また、地域の声を確認できるよう、可能な限り顔が見える関係づくりを意識した取組みとして、事業所周辺の清掃活動に力を入れている。</p>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>昨年度に引き続き、コロナウィルス感染蔓延対策のため、運営推進会議は書面での開催としているため、会議開催での意見交換が実施出来ない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>コロナウィルス第5類移行に伴い、運営推進会議の対面開催が実現できた為、今後も顔が見える形での開催を続け、地域の有識者との意見交換の場を設けていく。また、当方主催での地域住民向けの研修会開催や催し物の共同開催等、地域に必要な取組みを率先して行えるよう、事業所としての体制を整え、信頼と安心を届けられるよう、当方の運営を行っていく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 5年 8月 26日 (15:00~16:00)
------------------	-----	----------------------------

8. 質を向上するための取組み	メンバー	統括責任者/管理者/計画作成担当者/ 看護師/介護スタッフ/調理員/事務員
-----------------	------	------------------------------------------

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	14 人	人	人	16 人

前回の改善計画	令和4年度の研修計画を下に、各スタッフの資格取得やスキルアップを図れるよう対応していく。また、ZOOM等を活用したオンラインでの研修参加や、地域住民との交流を深め、避難訓練等は地域住民の方が参加できるよう調整していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	コロナウィルスが第5類移行に伴い、R5.10に地域住民を交えた避難訓練を実施予定。地域住民との交流については可能な限り地域連絡協議会への参加や民生委員の方との情報共有に努めている。他、認知症実践者研修をはじめ各種研修会参加等については、スタッフの自己研鑽と介護の質向上及び柔軟な考えを持てるよう取り組むことが出来ている。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	2	14			16
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	14			16
③	地域連絡会に参加していますか	1	1	14		16
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	14			16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
朝礼や終礼等の顔を合わせる機会を大事にし、スタッフ間の連携を図っている。また、当事業所の本社が介護関係の任用資格取得のサポート支援を行っているため、初任者研修等の資格取得希望者については費用面も含めサポートを行える体制を整えている。職場内のインターネット環境も整っているため、オンラインでの研修参加についても可能であり、認知症実践者研修や、計画作成担当者研修には令和3年度から引き続き、令和4年度参加することが出来た。今後はコロナウィルス第5類移行に伴う研修会増加が予想されるため、スタッフが希望する研修会への参加や、ZOOMでの参加を行い、限られた時間を有効活用できる研修システム構築を目指していく。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
避難訓練においては、当方登録利用者が参加型による実践的な避難訓練は実施していたが、地域密着型施設にも関わらず、近隣住民との火災等の災害時の連携体制が不十分のままであった。コロナウィルス第5類移行に伴い、R5.10開催することを地域の有識者に報告済。連携体制を整えていきたい。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
避難訓練においては、当方登録利用者が参加型による実践的な避難訓練は実施していたが、地域密着型施設にも関わらず、近隣住民との火災等の災害時の連携体制が不十分のままであった。コロナウィルス第5類移行に伴い、R5.10開催することを地域の有識者に報告済。連携体制と課題整理の確認を行い、利用登録者の安心安全に努めていきたい。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 5年 8月 26日 (15:00~16:00)
------------------	-----	----------------------------

9. 人権・プライバシー	メンバー	統括責任者/管理者/計画作成担当者/ 看護師/介護スタッフ/調理員/事務員
--------------	------	------------------------------------------

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	16 人	16 人	16 人	16 人	16 人

前回の改善計画	成年後見人制度活用の為、申立てに必要な書類を確認していく。また、診断書作成の為に医療機関受診を調整し、医療機関や行政との連携を強化していく。本人達が精神面での負担が生じないように、心身のケアを図っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	福島市生活福祉課担当者や、福島市社会福祉協議会内にある権利擁護センター担当者からの助言やサポートを頂き、生活保護制度活用や成年後見人制度活用を必要と思われる方に相談できる体制が出来ている。また「医療保護」からの当方利用等においては、地域包括支援センターや医療機関からのバックアップも頂き、より柔軟に人権やプライバシーに配慮しながら取り組んでいる。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	16				16
②	虐待は行われていない	16				16
③	プライバシーが守られている	16				16
④	必要な方に成年後見制度を活用している	16				16
⑤	適正な個人情報の管理ができている	16				16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
小規模多機能型居宅介護の利用登録者を含め、サービス付き高齢者向け住宅に入居されている方の、適切なアセスメントやモニタリングを毎月1回以上実施出来ているため、身体拘束の必要性はなくプライバシーに配慮した支援が継続出来ている。また、朝礼や終礼、スタッフミーティングを月2回以上開催等行っているため、情報共有が図られている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
成年後見人制度については、当方では相談を行ったが、実際に活用している利用登録者は不在。今後必要な方に成年後見人制度を活用していく際には、各専門分野の有識者に意見と求め、利用者の方に必要な情報を提供できるよう、当事業所として研鑽していく。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
成年後見人制度については、当方では相談を行ったが、実際に活用している利用登録者は不在。今後必要な方に成年後見人制度を活用していく際には、各専門分野の有識者に意見と求め、利用者の方に必要な情報を提供できるよう、当事業所として研鑽していく。また、利用者との顔が見える体制を継続し、登録利用者の方が安心して日々の生活を送れるよう支援していく。	